

平成18年5月25日(木曜日)



大和板紙で記念写真。(前列左から2人目が北村社長、同3人目が沢教授)

大阪経済法科大学の第4回会社見学会が5月18日(木)午後3時前から、柏原市河原町五丁三番地の大和板紙㈱(北村光雄社長)の古紙利用の現場で行われた。

今回も同大学科学技術研究所教授・沢勲学長補佐の企画で、循環型社会形成における再モノづくりの有名会社の現場見学ということで、かねて北村社長と親交のあった同

紙リサイクルの大和板紙訪問

大阪経法大の会社見学会



発行所

本社(〒581-0085)
大阪府八尾市安中町8-39-3
☎ 0729-91-5188
FAX 0729-92-8030

インターネット

<http://www9.ocn.ne.jp/~kawachi/>
Eメール:kawachi-shinbun@isis.ocn.ne.jp

(社団法人・大阪自治調査会
・大阪府地方新聞協会加盟)

株式会社 河内新聞社

東大阪支社(〒579-8063)
電話0729-91-0539
東大阪市横小路6-1450-5

社が選ばれた。北村社長と同社の技術担当者が、学生たちの説明役を務めた。各所から集められた古紙が山積みにされた広い工場内を約二十人の学生たちは熱心に見学。新聞、雑誌、段ボール箱などが、パルパーと呼ばれる、水と一緒にあらゆる古紙を攪拌して溶かす容器に入れられ、板紙ができるまでを

説明を受けた。工場見学のあと、紙リサイクルのビデオを見て短時間ではあったが、私たちは消費した紙を使い捨てにしないで、効率よく回収し、再び古紙利用製品として生活に役立てていきたいーとの思いを強くしたようだ。

北村光雄社長は、日本板紙組合連合会長のほか西日本学生相撲連盟会長、同志社スボーツユニオン名誉会長の要職にあり、見学に訪れた学生たちに「限りある資源を有効に活用するために、あらゆる分野でリサイクルをすすめていくことが大切」と要望した。